

スクール・ポリシー（学校名：荒川工業高等学校（全日制課程））

<p>グラデュエーション・ポリシー</p> <p>○意欲的に進路選択ができる。 【意欲的に進路選択し、筆記試験にも臆することなく挑戦できる。】</p> <p>○協働しながら目的を達成することができる。 【コミュニケーションを基に他人のモチベーションを向上させ、協働しながら目的を達成することができる。】</p> <p>○暮らしの中での課題に気付くことができる。 【専門性を生かし暮らしの中での課題に気づき、解決策を提案・修正することができる。】</p>
<p>カリキュラム・ポリシー</p> <p>①主体的、対話的で深い学びの実践とP B Lの手法を活用する。 ②企業等との連携を推進するとともに「東京P - T E C H」事業を確実に実施する。 ③基礎的・基本的な学力の定着を図るため、個に応じたきめ細かな指導を推進する。 ④生徒の興味・関心を効果的に高めるため、I C T機器を積極的に活用する。 ⑤読書週間を設定し、本に親しむ習慣を身に付けさせる。（不読率50%以下） ⑥J E Tプログラムを活用し、英語に親しむ授業を実践する。 ⑦課題研究発表会におけるプレゼンテーション能力の向上を図る。 ⑧外部機関と連携した主権者教育・消費者教育等の充実を図る。 ⑨オンラインでの学習支援体制の充実と授業の実践</p>
<p>アドミッション・ポリシー</p> <p>本校は電気・電子・情報技術科からなる電気系工業高校として、「ものづくり」を中心に基礎的な学力を身に付けさせている。また、資格取得に力を入れ、学習に対する意欲と社会に出て活用できる力を育てている。本校では次に示すような生徒の入学を期待している。</p> <p>①電気工事、電子技術、情報技術、ロボット製作、ホームページ制作などに興味・関心があり、「ものを作る」ことが好きで、すすんで取り組み、将来の進路に生かそうとする生徒 ②服装・頭髪等の規則を守ることができ、他人を思いやる、礼儀正しい生徒 ③免許・資格取得を積極的に目指す生徒 ④部活動に積極的に参加し、学習との両立ができる生徒 ⑤学校・地域での諸活動を積極的に行う生徒</p>

スクール・ポリシー（学校名：荒川工業高等学校（定時制課程））

グラデュエーション・ポリシー
ものづくりを通じて自分の持てる力に気付くこと、補習・補講による専門性向上を支援し、免許・資格及び実践的な工業技術の習得を図る等の特色ある教育活動を通じて、社会の変化に対応する人材、社会を支える人材を育成します。
カリキュラム・ポリシー
○学習目標の明示と振り返りを徹底するとともに、「思考」させる授業を実践し、主体的・対話的に深い学びを実現化する。 ○「読解力」を育むために、教科書をしっかりと読ませる授業を実践し、学びを振り返ることができる力を身に付けさせる。 ○「分かる授業」の実現に向け、放課後や長期休業期間等における補講・補習を計画的に実施し、基礎・基本の学力を確実に定着させる。 ○多様な学習歴による学習面の「つまずき」を早期に発見し、支援するため、生徒の卒業中学校との連携や入学者選抜検査結果を活用する。 ○教科「人間と社会」では、仲間や地域との交流・協働を通して、より良い生き方を主体的に選択し、行動する力を育成するとともに、ボランティア活動等の体験から、自発的な貢献力を養う。 ○I C T 機器を積極的に活用し、生徒の興味・関心を高める。 ○読書週間を設定し、本に親しむ態度や本を読む習慣を身に付けさせる。 ○外部機関と連携し、主権者教育を充実させる。
アドミッション・ポリシー
○決められたルールや時間を守ることなど、規範意識の高い生徒 ○電気、電子、コンピュータ関係に興味・関心がある生徒 ○電気工事、電子工作、プログラム作成など「ものづくり」が好きな生徒 ○電気、電子に関する免許・資格等を積極的に取得しようとする生徒